

# 小規模企業景気動向調査

[平成22年7月期調査]

～猛暑により小売・サービス業を中心に一時的な持ち直しが見られる小規模企業景況～

2010年8月31日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員  
調査時点：2010年7月末  
調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…猛暑により小売、サービスが比較的堅調…◇

7月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲36.7と前月調査に比べ3.5ptの改善という結果となった。主な要因としては、猛暑による小売、サービス業での業況改善が挙げられる。しかし、アジア等海外需要の拡大の恩恵を受けていた製造業において伸び率が鈍化する等、足元での不安定要因も増しており、依然、楽観視出来ない状況が続いている。

## <製造業> ◇…原材料価格の上昇と取引条件の悪化が指摘される製造業…◇

製造業DIは、中国等海外需要拡大の恩恵を受け、自動車部品や半導体、建機等の輸出関連業種で比較的堅調との声が聞かれている。特に自動車部品製造業については、「受注量が拡大しており、自社だけでは納期が守れない。下請け業者を探している。」といった声が聞かれるなど、自動車関連の製造業が地域経済の牽引役となっている地域では、持ち直し傾向が見られるとの声が散見されている。一方で「原材料が高騰し、採算に影響が出ている。」(食品加工業)との指摘もあり、業種によって明暗が分かれる格好となった。

## <建設業> ◇…需要不足の中、政策効果がみえる建設業…◇

建設業DIは、▲53.8と前月調査に比べて1.1ptの改善を示している。エアコンの取り付け工事等季節的な要因のほか、一部の市町村では、住宅エコポイント制度にあわせ、建築改修補助金等の政策的支援を行うことで地域の需要を刺激したとの声も聞かれている。一方で、官公庁工事は依然として厳しい状況にあり、需要不足が常態化している。加えて「生コンの現金決済を求められている。」など、取引条件の悪化から資金繰りの悪化を指摘する声も大きい。

## <小売業> ◇…需要の先食いが懸念される小売業…◇

小売業のDIは、比較的堅調な動きを示している。例年と比べて猛暑が続いているため、清涼飲料水やビール等の酒類、エアコンの売上が上がっている。一方でエコカー補助金やエコポイント制度において需要の先食いを指摘する声も聞かれており、政策終了後の反動を懸念する声は大きい。

## <サービス業> ◇…地域経済縮小の影響を受けるサービス業…◇

サービス業DIは、持ち直しの傾向を示している。猛暑の影響により海水浴客等の観光客が増加した。それに伴い、宿泊業等観光関連のサービス業を中心に堅調を伝える声が聞かれた。しかし、「地域の稼ぎ頭が元気にならないと我々にお金が回ってこない。」(飲食業)など、建設業等地域の基幹産業の不振の影響による需要の冷え込みが指摘されており、地域経済全体の縮小が懸念されている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲39.1	▲33.5	5.6	▲20.1	▲16.8	3.3	▲51.2	▲46.9	4.3
採算	▲38.5	▲35.0	3.5	▲26.1	▲22.9	3.2	▲51.4	▲51.9	▲0.5
資金繰り	▲34.8	▲34.3	0.5	▲22.4	▲22.8	▲0.4	▲50.4	▲53.4	▲3.0
業況	▲40.2	▲36.7	3.5	▲23.1	▲20.6	2.5	▲54.9	▲53.8	1.1

業種	小売業			サービス業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲40.8	▲32.1	8.7	▲44.6	▲38.1	6.5
採算	▲41.9	▲35.7	6.2	▲38.2	▲29.7	8.5
資金繰り	▲39.3	▲31.4	7.9	▲33.6	▲29.8	3.8
業況	▲45.2	▲35.9	9.3	▲39.7	▲36.8	2.9

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 市場開拓支援課

〒1050004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル 8F TEL:03-3503-1256 FAX:03-3580-6577 担当:森田 修造